

111社・団体が出展、自動認識技術の専門展示会

AUTOID & COMMUNICATION EXPO

第20回 自動認識総合展

2018年9月12日(水)～14日(金)、東京ビッグサイト 西4ホール
開催時間 10:00～17:00 [3日間とも]

一般社団法人日本自動認識システム協会(通称 JAISA[ジャイサ]、東京都千代田区 会長 春山 安成)は、2018年9月12日(水)～14日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)西4ホールにて、「第20回自動認識総合展 AUTOID & COMMUNICATION EXPO 2018」を開催いたします。また、併設で「BT Spice自動認識セミナー(BT・TSPICEスペース)」を開催いたします。

本展示会は、自動認識技術に以前から求められていた「省力・効率」の分野に加えて、社会において人が安心して生活できる「安全・安心」の分野、物流・製造等現場の「見える化」の分野での「バーコード、二次元シンボル、RFID(Radio Frequency Identification)、画像認識、バイオメトリクス(生体認証)」などの先端自動認識技術、及びこれらの技術を生かしたソリューション(物流、流通、生産、施設オフィス管理支援など)や応用システムを展示するものです。

来場者は、自動認識ベンダーのみならずコンピュータ関連業界をはじめ、アパレル、飲料、食品、出版、流通、物流、医療、オフィス管理、施設管理さらには公共関係と広範囲にわたり、その職種も開発、企画、営業、情報システム、設計から生産管理、購買担当の方々と多岐にわたっています(第19回は約19,000人が来場)。開催概要は下記の通りです。

- ◆展示会名：「第20回自動認識総合展」
- ◆会 期：2018年9月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00(3日間とも)
- ◆会 場：東京ビッグサイト[東京国際展示場] 西4ホール
- ◆主 催：一般社団法人日本自動認識システム協会
- ◆後 援：総務省/外務省/経済産業省
- ◆開催規模：111社・団体 273小間
- ◆入 場 料：1,000円(インターネット来場事前登録者・招待券持参者は無料)
- ◆併催事業：BT Spice 自動認識セミナー
主催者*・出展社プレゼンテーション(※JAISAセッション、JAISAフォーラム、自動認識システム大賞受賞企業発表)事例でわかる自動認識(出展企業による出展内容パネル展示)
- ◆ゾーン展示：モバイル&ウェアラブルゾーン
画像認識ゾーン
センサネットワークゾーン
- ◆同時期開催展示会：国際物流総合展2018(相互入場を実施)
- ◆展示会事務局：株式会社シー・エヌ・ティ

▼国内唯一の自動認識技術、ソリューションの専門展示会

本展示会は、「バーコード・二次元シンボル、RFID、画像認識、バイオメトリクスといったIDの最先端技術」と「ID技術を活用した、業務の効率化、省力化・コスト削減、安全・品質管理、顧客サービス向上のための自動認識ソリューション」の2本柱にて構成されます。展示内容は、「参加111社・団体によるブース展示」と「自動認識技術の活動を紹介するJAISAコーナー」、聴講無料の「主催者・出展社プレゼンテーション」などとなります。

▼「BTSpice自動認識セミナー」

本展示会に併設される「自動認識セミナー」は東京理科大学大学院教授 荒木勉氏をセミナー委員長に迎え、ユーザの視点を意識したセミナーを実施します。

本セミナーは3日間開催され、9タイトルの講演が用意されています。

講師は各界の専門家が切り口鋭く実例などまじえながら最新の自動認識技術を講演し、通常ではなかなか聴講できないセミナーとなっております。

《9月12日(水)》

基調講演 1 K01 【無料】

「第4次産業革命とロボット・ドローン～connected industriesの実現による society5.0 の確立に向けて～」

経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長 玉井 優子 氏

特別講演 T01 QRコード・スマホ決済によるキャッシュレス化 【有料】

「トレーサビリティとビジネスモデルの進化」 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 慶應義塾 常任理事 國領 二郎 氏
「キャッシュレス化の最近の動向」 東京理科大学大学院イノベーション研究科長 教授 荒木 勉 氏

《9月13日(木)》

S01 医療現場での活用事例 1 【有料】

「病院の物流および滅菌部門のスマート化へ向けて」 東京医科歯科大学 医学部附属病院 久保田 英雄 氏
「手術用鋼製器具 DPM 導入の実態と修理履歴追跡の有用性」 名城大学大学院 都市情報学研究所 酒井 順哉 氏

S02 医療現場での活用事例 2 【有料】

「東海大学病院手術室における医療材料 GS1 標準バーコード対応」 東海大学医学部附属病院 麻酔科 澤田 真如 氏
「病院内における RFID を活用した業務改善及び経費削減効果」 帝人(株) スマートセンシング事業推進班 阿磨 由美子 氏
学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 谷部 聡 氏

基調講演 2 K02 「コンビニ電子タグ 1000 億枚宣言」実現に向けて 【無料】

「コンビニ電子タグ 1000 億枚宣言の展望」 経済産業省 商務情報政策局 加藤 彰二 氏
「未来へ一番乗り。RFID 実証実験報告。」 (株) ローソン オープン・イノベーションセンター 谷田 詔一 氏
「『コンビニ電子タグ 1000 億枚宣言』実現への道」 大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 中野 茂 氏
《パネルディスカッション》

ファシリテータ	紀伊 智顕 氏	みずほ情報総研(株)
パネラー	加藤 彰二 氏	経済産業省 商務情報政策局
	谷田 詔一 氏	(株) ローソン
	中野 茂 氏	大日本印刷(株)
	小林 洋 氏	サンスター(株)
	今村 修一郎 氏	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)
	田村 和広 氏	(株) 日立物流

《9月14日(金)》

S03 画像認識の活用事例 【有料】

「パン画像識別システムと応用展開」 (株) ブレイン 橋間 智博 氏
「業界初の自動充填設備導入による、生産性・作業精度向上について」 オタフクソース(株) 井草 貴 氏
谷 和典 氏

S04 生産現場での活用事例 【有料】

「一貫ラインでの多品種小ロット生産を支援する IoT/ICT」 富士通(株) 軽部 孝喜 氏
「BLE による ID 取得とカメラ映像を融合した新サービスの事例紹介」 凸版印刷(株) 成田 康雄 氏

S05 音声認識/RFID の活用事例 【有料】

「阪急電鉄(株) 多言語アナウンスシステム導入支援」 アイテック阪急阪神(株) 井阪 宣之 氏
「インタウンチェックインカウンター汎用版『スマートチェックイン』」 ヤマト運輸(株) 菊池 誠 氏

S06 QRコード最新活用事例 【有料】

「次世代物流サービスへの挑戦」 ヤマト運輸(株) 黒田 敏夫 氏
「QRコードと生体認証を活用した本人確認業務の効率化と顧客利便性の向上」 (株) 鹿児島銀行 森 泰隆 氏

▼主催者・出展社プレゼンテーション ※聴講無料

【JAISA セッション】

自動認識の統計調査報告や基礎知識講演（チュートリアルセッション）、事業成果発表などを行います。

9月12日(水)	9月13日(木)	9月14日(金)
「自動認識機器等の 2017年出荷統計調査報告」	チュートリアルセッション1 「バーコード・二次元シンボル編」	チュートリアルセッション3 「バイオメトリクス編」
	チュートリアルセッション2 「RFID編」	

【JAISA フォーラム】

自動認識の関連規格や事業成果発表などを行います。《事前予約制》

9月12日(水)

「サプライチェーン用 RFID 国際規格改訂活動」 ～サプライチェーンへの RFID 適用国際規格改訂の最新状況～ 「生体認証の第三者評価・認証」 ～コモンクライテリアを適用した評価・認証事例のご紹介～ 「バイオメトリクス精度評価方法改善への取り組み」 ～容易にセキュリティ性を確認できる評価方法の確立に向けて～ 「バーコードプリンタ及びバーコードリーダの性能評価仕様の JIS 化」 ～印字性能評価用標準画像及び読取性能評価用精密テストチャートの概要～
--

【自動認識システム大賞受賞企業発表】

JAISA が毎年表彰している「自動認識システム大賞」の今年度受賞システムの発表を行います。

9月12日(水)

日本電気(株) ブランド品と鑑定書の紐づけシステム	特別賞
帝人(株) 医療分野における RFID の活用	フジサンケイ ビジネスアイ賞
(株) サトー 顧客満足が向上した、JP のフリマ商品用荷札発行システム	優秀賞
みずほ信託銀行(株) / 三井住友信託銀行(株) / 日本株主データサービス(株) QRコード®の活用による議決権行使サービス「スマート行使」	優秀賞
NTT コミュニケーションズ(株) 監視カメラ映像からの自動人物検索システム Takumi Eyes	大賞

【出展社プレゼンテーション】

今回も出展企業が展示会場で自社の製品・ソリューションをプレゼンする「出展社プレゼンテーション」を行います。発表企業は以下の通りです。

9月13日(木)	9月14日(金)
キヤノン IT ソリューションズ(株)	(株) トラスト・テクノロジー
日建リース工業(株)	(株) 日新
(株) トラスト・テクノロジー	緑屋情報システム(株)
(株) M2 モビリティ	(株) M2 モビリティ
(株) RFID アライアンス	(株) テララコード研究所
アイメックス(株)	

▼ゾーン展示

【モバイル&ウェアラブルゾーン】

製造、運輸、流通、店頭などの現場ではモバイル端末の存在は今や珍しい物ではなくなりました。それに加え身に付けて作業効率を上げるためのウェアラブル機器が昨今注目を集めております。それらのモバイル&ウェアラブルと自動認識技術が融合することによりさまざまなイノベーションが予想されます。

本ゾーンでは、モバイル端末・モバイル連携機器、ウェアラブル機器などを集めたゾーンを新設いたします。出展企業は以下の通りです。

アイメックス(株) / サイファラボ(株)、GIGA-TMS、シェン・ヒーロー(株)、(株)リオテック

【画像認識ゾーン】

カメラ付きの携帯電話やスマートフォンが急速に浸透して、今では一人が一台画像認識ツールを保有して利用する時代となったといっても過言ではありません。製造工程での活用やセキュリティ用途の拡大はもちろんのこと、生活者がもっと身近に活用し情報入手するなどさらなる可能性を秘めています。

自動認識総合展では、画像認識技術による個体パターン認識や画像処理による画像情報の認識、バーコード認識、文字認識(OCR)、指紋・顔認証などを中心に、企業や生活者が利用できる応用技術など幅広く先進の画像認識技術を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

エウレカ(株)、NEC/NECプラットフォームズ、キャノンITソリューションズ(株)、(株)グレースシステム
(株)シフト / (株)インフォファーム、上海合合信息科技有限公司、デュプロ(株)、
(株)Top Image Systems Japan、(株)とめ研究所、(株)トラスト・テクノロジー
富士フィルムイメージングシステムズ(株)、(株)ブレイン

【センサネットワークゾーン】

RFIDやNFC等の自動認識で、家電・自動車・食物・流通製品などの様々な“モノ”を認識しインターネットに接続することで管理するIoT(Internet of Things)や機器間のネットワークでつなぐM2M

(Machine to Machine)などセンサネットワークが注目を集めております。用途は製造工程、スマートハウス、交通、ヘルスケア、医療、農業、エネルギー管理、セキュリティ、災害対策など多岐にわたり、次世代社会を支える情報インフラ基盤として期待されております。

自動認識総合展では、無線通信技術、センサ技術、クラウド、データ解析など、自動認識技術でつながる各種センサおよびネットワーク構築を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

ICOP I.T.G.(株)、(株)三協、シーレックス(株)、伯東(株) / インピンジ

尚、このほかにも公式サイト上で展示会のご案内をしておりますのでご参照ください。

<http://www.autoid-expo.com>

●公式サイトの「プレスの方へ」では、以下データがダウンロード可能です。

1. 「第20回自動認識総合展」ロゴデータ
2. 「自動認識セミナー B・T Spice」のロゴデータ
3. 「2017年度の会場風景などの写真」
4. 「ポスターデータ」

----- <お問い合わせ先> -----

展示会事務局

(株)シー・エヌ・ティ 担当=吉田

Tel.03-5297-8855 Fax.03-5294-0909 info@autoid-expo.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F